

## 1994 年天文教育普及研究会年会の報告 (第 8 回天文教育研究会)

8月1日から4日まで岡山県の鴨方町と美星町において標記の会が開催された。今回は磯部瑠三前会長から会長を引き継いで間もない年会の開催であった。

本会は前会長のパワーで急成長・急発展した。会員数が急増し、会則が整備され、書籍・冊子等が出版され、実績が形として現れるようになってきた。今後は大きくなった組織、発展した活動をさらに充実させ、確固とした組織のもとに着実に成果をあげたいと思う。

そのために本会の在り方・運営の仕方等について、年会前日からの運営委員会で丸一日かけて討議した。さらに総会・全体会においてもそのことに関連して忌憚のない討論をした。これを契機に本会がより発展しますように会員のみならず、関係諸機関の方々に協力を願いたい。

年会の2つのテーマに関連していくつかの成果が得られた。そのテーマの1つ“学校教育における天文教育”については、改訂された学習指導要領に関しての要望書を文部省に提出することになった。また、その要望に沿ってつぎの改訂の試案が提示された。さらにその先を見据えた提言もあり、新しく「理科離れ問題検討WG」(委員長：磯部瑠三)が設立された。

もう1つのテーマ“天文教育とアマチュア”については、天文アマチュア活動の幅広さに対応して本会がそのようなアマチュアにどのようにアプローチすべきかの方向性が討論の結果、見えてきたようである。ひき続き各支部でも討論し、具体的な働きかけを試みる。その結果、来年のテーマ“天文教育普及の実践”(案)では、多くのアマチュアが研究発表することを期待する。以上のこととも関連して、現在、本会を紹介するリーフレット作成の作業が進められている。

今回の年会でも研究発表に興味深いものが多

く、有効な情報が得られた。日本天文学会では、この秋季年会から講演分野に天文教育が設けられたが、そこで発表してほしいものがいくつかあった。また、天文教育・天文普及に大きな働きをしている教科書や一般啓蒙書に間違いや誤解を生むものがあり、それを正そうという発表がいくつかあった。その結果、「教育関係図書検討WG」(委員長：大金要治郎)が設立された。

年会終了後のオプションツアーとして岡山天体物理観測所の見学があった。案内等の世話をさせていただいた所員の方々に感謝したい。

今回の年会は鴨方町と美星町の2カ所で行われ、参加者はツアーのようにその変化を楽しんだが、運営する側は大変であったろう。中国支部の佐藤健副会長をはじめ運営委員、美星天文台・遙照山簡易保険保養センターの職員の方々の協力により無事、成功をおさめたことに感謝する。

来年の年会は西はりま天文台において8月1日から4日に開催される。近畿支部の横尾武夫副会長をはじめ運営委員、西はりま天文台の職員の方々によりしくお願いしたい。

なお、1994年の第8回天文教育研究会集録(送料込み2000円)、1993年の第7回天文教育研究会集録(送料込み1500円)、1992年春の共催フォーラムの内容をまとめた冊子「天文教具」(送料込み500円)を希望の方は代金の切手を下記の住所に送付ください。

水野孝雄

天文教育普及研究会会長

〒184 東京都小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学地学教室内

e-mail: mizuno@yamabuki.u-gakugei.ac.jp